

人生ゲーム in 富士

第2ステージ 暮らし



子どもが生まれる

育児サークルに入り、活動に参加する

子どもが風邪を引き、病院へ行く

市内に住む両親に子育てを助けてもらう

保育園や認定こども園に子どもを預ける

地区まちづくりセンターの子育て講座を受講する

地区まちづくりセンターには、乳幼児から高齢者まで、さまざまな年代を対象にした、400を超える講座があります

地区まちづくりセンターの子育て講座を受けている
今川 宏樹さん（五貫島）



こども医療費助成制度で、支払い額は月4回まで500円（保険診療外は除く）

「ラジオエフ」は地域密着型のコミュニティエフエム放送です

防災ラジオを購入し、毎朝ラジオエフを聞く

近所の地域子育て支援センターを利用する

主に未就園児とその保護者を対象にした「地域子育て支援センター」。市内に11か所あります

週末、家族で富士西公園へ出かける

地域の産直市へ行き、新鮮な食材を購入する

図書館の読み聞かせに参加する

地域子育て支援センターを利用する
佐藤 登志恵さん（大淵）

私は、沼津市出身で、結婚を機に富士市に来て、子どもを産みました。周りに友達がいなかったたので、子育ての相談などに困っていたところ、公園で子どもがいるお母さんたちと友達になり、市内の保育園などにある「地域子育て支援センター」を教えてもらいました。地域子育て支援センターは、遊具などが充実していて、安心して就学前の子どもが遊ぶことができます。また、親子で友達になれて、情報交換もできますよ。

富士山の魅力を撮り続けている
西川 卯一さん（吉原2）

私は、地元で販売店を開業したいと思い、5年前に日本を象徴する山の富士山にちなんだギフトショップを始めました。店を始める前に、富士山をよく理解したいと思い、プライベートで写真を撮るようになりました。富士市は海から富士山が撮影できる貴重な場所です。また、富士山の5合目付近まで行くと富士市街の夜景が一望できるんですよ。富士市でしか味わえない富士山の魅力ですね。



私には4歳と1歳の子どもがいます。日々成長する子どもを見ているのはうれしく、子育てを楽しんでいます。チャリでこの講座のことを知り申し込みました。講座には親子で参加しています。子育てのヒントを学ぶことができているんですよ。上の子が小さいときは幼児向けの講座に参加していました。趣味の講座などもありますよね。妻も秋から新しい講座を受講します。これからも参加していきたいですね。

「人生ゲームin富士」
はいかがでしたか？
インタビューを通じ、
たくさんの方の富士市の魅力
を知ることができました。



地元産木材「富士ヒノキ」を使ったマイホームを建てる



ファミリー農園を借りて野菜を育てる 望月 寿洋さん家族（松岡）



市街地を循環する「ひまわりバス」。
市内には、地域住民の足になる
「コミュニティバス」が
走っています

市の助成で
がん検診を
受ける

「ひまわりバス」
に乗って、つけ
ナポリタンを
食べに行く

インターネ
ットを利用して
たら不当請求された。
消費生活センターに
相談

1回
休み

町内会
の班長
になる

ファミリー農園
を借りて、家族
で野菜を育てる

富士山に
魅せられ、
カメラを
始める

市は「ファミリー農園」を
貸し出ししています。広報
ふじで募集します

富士ヒノキを使った家を建てた 稲葉 康介さん家族（入山瀬）

私は、結婚して借家に住んでいましたが、子どもが引っ越しで友達と別れると寂しい思いををすると思い、入園前に家を建てようと思いました。

夫妻で住宅セミナーに参加して、家の建て方などを勉強しました。その結果、耐震性があり、地元の気候に適していて、補助金制度もある富士ヒノキなど地元産木材を使用した家を建てることにしました。120%満足する家が完成しました。

